

札幌保健科学雑誌原稿執筆要領

(2017年5月より適用)
(2025年5月更新)

1. 原稿の構成

- 1) 原稿は、和文または英文とし、原稿の記載順序は、論文種類、表題、著者、所属、要旨（和文 400 字/英文 200 語程度）、キーワード、本文、引用文献、図表の順とする。和文原稿には英文の、英文原稿には和文の、表題、著者、所属、要旨、キーワードを 1 枚にまとめて添付する。
- 2) 要旨および本文（引用文献を含む）の末尾には、文字数を明記する。
- 3) キーワードは、5 語以内とし、論文が確実に検索できるような具体的、的確なものとする。
- 4) 英文の要旨、本文には、英語を母国語とする有識者のサイン入り英文校正証明書を添付する。
- 5) 論文の体裁に関するチェックリストに必要事項を記載し添付する。
- 6) 著者の論文への責任および著作権に関する確認のため、自筆署名した投稿確認・同意書を添付する。
- 7) 所属先は、当該の研究の実施にあたり最も支援を受けた施設とし、投稿に際し、施設名を明記することについて、著者が所属先から了承を得る。連絡先は、研究責任者に連絡がつく住所を記載する。

2. 原稿の規定文字数（語数）、図・表および写真：

- 1) 原著、総説および研究報告は、本文、文献、図表を含め原則 12000 字（英文 5000 語）以内とする。
- 2) 報告は、本文、文献、図表を含め原則 6000 字（英文 2500 語）以内とする。
- 3) 図表は、刷り上り 1 ページ 2000 字（英文 800 語）、2 分の 1 ページ 1000 字（英文 400 語）、4 分の 1 ページ 500 字（英文 200 語）で換算する。
- 4) 図・表および写真の挿入箇所を原稿に指示する。
- 5) 印刷は、原則として白黒とする。
- 6) 依頼論文については、編集委員会で定める。

3. 原稿作成における注意事項：

- 1) 原稿は、原則として MS-Word で作成し、A 4 判、フォント 10.5 ポイント、字数を 1 枚に 40 字×30 行（マージン：上 35mm、下 30mm、左 30mm、右 30mm）とする。本文の各ページには、行番号およびページ番号を入れる。英語の原語綴は行末で切れないように、その言葉の頭で改行する。MS-Word にない文字や記号は手書きで明瞭に記載する。
- 2) 現代かな遣いに従い専門用語以外は当用漢字とする。
- 3) 度量衡 C G S 単位に限る。
- 4) 文中の外国人名、地名、科学用語は、原語（タイプ印書）あるいはカタカナを用い、固有名詞、ドイツ語のみ頭文字は大文字とする。
- 5) 文中にしばしば繰り返される語は、略語を用いて差し支えないが、文中の初出の時に完全な用語を用い、以下、略語を用いることを明記する。
- 6) 本文は各専門領域の慣習に従うものとする。

4. 引用文献：

- 1) 論文中に他の著作物からの引用を行う際は、著作権法で定められているルールに基づいて行う。
- 2) 引用の範囲を超えた「転載」が必要な場合は、著者の責任において転載許諾の手続きをとる。
- 3) 引用文献は、原則として本文中に附した引用番号順に記載する。但し、やむを得ない場合は、各専門領域の慣習に従うことを認める。
- 4) 著者名は 3 名までを記載し、それ以上は、「～他」、「et al.」とする。
- 5) 英文誌名は、PubMed で用いられる Journals referenced in the NCBI Databases（最新版）<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals> に準じて記載する。和文誌名は、省略せずに記載する。
- 6) ペリオド、コンマ、ハイフン、数字等は半角とする。
- 7) 引用文献の記載方法：

雑誌：

引用番号) 著者名：題名．雑誌名 巻：頁 - 頁, 西暦年

(例)

- 1) 安川揚子, 中井夏子, 田野英里香：東日本大震災の被災地における看護師の医療支援活動報告．札幌保健科学雑誌 1：79-83, 2012
- 2) Walker JM, Akinsanya JA, Davis BD, et al.: The nursing management of elderly patients with pain in the community: study and recommendations. J Adv Nurs 15: 1154-1161, 1990

単行本：

a. 引用番号) 著者名：書名．(巻)．(版)．発行地, 発行所, 西暦年, p 頁-頁

(例)

- 3) 秋山 洋：手術基本手技. 東京, 医学書院, 1975, p57-76
- 4) Goligher JC, Duthie HL, Nixon HH: Surgery of the anus rectum and colon. London, Bailliere Tindall, 1980, p424-501

b. 引用番号) 著者名：分担項目名．編者名．書名．(巻)．(版)．発行地, 発行所, 西暦年, p 頁-頁

(例)

- 5) 小黒八七郎：大腸検査法の進歩．小黒八七郎，吉田成昭編．大腸癌一診断と治療．東京，日本メディカルセンター，1996，p69-78
- 6) Allen A, Hoskins AC: Colonic mucus health and disease. (Diseases of the colon, rectum, and anal canal.) Kirsner JB & Shorter RG ed. Rochester, Williams & ilkins,1988, p65-94

翻訳本：

引用番号) 原著者名 (訳者名)：翻訳書名．(巻)．(版)．発行地，発行所，西暦年，p 頁-頁

(例)

- 7) Creswell JW, Plano-Clark VL (大谷順子訳)：人間科学のための混合研究法．京都，北大路書房，2010，p69-74
- 8) Cook AM, Hussey SM (上村智子訳)：作業療法実践のための電子支援技術．Pedretti LM ed. (宮前珠子，清水一，山口昇監訳)．身体障害の作業療法．(第4版)．東京．協同医書出版，1999，p583-599

電子文献：

引用番号) 著者名：題名．誌名．西暦年，巻数：頁-頁．doi または入手先 URL，(アクセス年月日)

(例)

- 9) 松原茂樹，加藤芳秀，江川誠二：英文作成支援ツールとしての用例文検索システム ESCORT．情報管理．2008, 51:251-259, <http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/51.251>, (2008-08-15)
- 10) Mabon, S. A., Misteli, T.: Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. PLoS Biol. 2005, 3: e374. doi:10.1371/journal.pbio.0030374, (2008-03-09).
- 11) 厚生労働省：C型肝炎について一般的な Q&A. 改訂第6版．2006, <http://www.med.or.jp/kansen/bandc/cqa.pdf>, (2007-10-26)

5. 修正原稿提出時の注意事項：

- 1) 査読者や編集委員会の指摘にもとづき修正原稿を提出する際は、修正個所がわかるようにアンダーラインやマーカーを付すこと。
- 2) 修正原稿とともに査読者や編集委員会のコメントに対する回答書を提出すること。